



# 週)報

2012~2013年度)) ) R I会長)田)中)作)次)  
『奉)仕)を)通)じ)て)平)和)を』)  
))))))))))第 2570 地区ガバナー)鈴木)秀)憲)

国際ロータリー  
第 2570 地区

## 狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕狭山東武サロン〒350-1305) 狭山市入間川 3-6-14)TEL)04-2954-2511  
〔事務所〕〒350-1305)狭山市入間川 1 -24-48)TEL)04-2952-2277)FAX)04-2952-2366  
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@p1.s-cat.ne.jp  
会長)若松泰誼) 会長エレクト)栗原憲司))副会長)山室博美) )幹事)稲見)淳

〔第 3 グループ内の例会日〕 狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)  
所沢(火)、新所沢(月)、所沢西(水)、所沢東(木)、所沢中央(月)

### 第 913 回(9 月 11 日)例会の記録

点 鐘 若松泰誼会長  
合 唱 四つのテスト  
第 2 副 S A A 奥富君、小澤君  
卓話講師 大生病院歯科・口腔外科  
阪 口 英 夫 先生  
ビジター 米山奨学生 金強重君

今度は鉱物資源省の事務次官になられたそうです。その上は大臣となるそうで、大変な出世とのこと、嬉しく思います。

今日は我々 2570 地区の大変な問題、時期ガバナーの中井眞一郎さんの色々な問題について資料を配らせて頂きました。

今年の 4 月に地区協議会がございました。そこで時期ガバナーとして中井さんがご挨拶されたのですが、セミナーは全て中止、地区協議会を無くそう等、ある意味では大変な改革なのでしょうが、かなり衝撃的な内容のお話をされました。その後、午後は無断欠席をされたそうで、出席されている方が呆気に取られたということがありました。私も参加をしておりましたが、来年は随分と大変な方がガバナーになるのだという印象を受けておりました。そして今年の鈴木年度ガバナー月信第 1 号にまた中井さんの記事が載っており、「35 名以下のクラブは解散か合併をして欲しい」等々の内容が書いてあったのですが、これに対してクラブの指名委員会から「クラブの合併や会員数の最少人数などはガバナーや地区が決めることではなく、国際ロータリーの会員であるクラブが自主的に決める事であり、ガバナーが決定できることではないからです。」といった抗議がされております。8 月 1 日に直前指名委員長が召集者となって、地区幹事の代表 6 名と指名委員等による「ガバナーエレクトを囲んでの懇親会」を開催し、その席上で中井さんに、「ロータリーに対するこれまでの言動を反省し、9 月号ガバナー月信で謝罪をしてもらいたい、それができなければ身を引いて貰いたい」というお願いをしたそうです。ところがいずれも拒否をされ、現在収拾不能の状態となっているそうです。

指名委員会も辞めさせることはできないそうで、中井さんに自主的に辞めて頂くことが一番良いそうです。恐らく個人の考えが表通りをどんどん歩いているのだと思いますが、なんとも理解し難い話が沢山あります。中井さんは弁護士らしいのですが、下がるに下がれず最後まで戦うようなことを仰っているそうです。9 月になり、来年に向け

#### 出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
30 名	21 名	67.86%	96.43%

#### 会長の時間

若松会長



9 月 5 日に第 3 グループの会長・幹事会がございました。来年 3 月 9 日に IM を行います。その IM で各クラブ発表をして頂きたいということですが、どのような発表かといえますと、「新世代奉仕部門」か「国際奉仕部門」の年間の活動報告ということで、海外のロータリークラブと合同で取り組んだ姿等があったら発表して欲しいということです。我々が植樹に行ってきた話をしたところ、是非とも発表して欲しいとのことでしたので、栗原(成)さんにもお話をしたところ、他のスケジュールを変えてでも発表をしたいと仰っていました。IM プレゼン担当者につきましては、担当者が決まりましたら、3 回ほど打ち合わせをしたいということです。後日担当を決めさせて頂きたいと思えます。

また、先週のガバナー月信に狭山中央ロータリークラブに退会者 9 名と載っていましたが、そんなことはございませんので、事務局を通して連絡をさせて頂きました。そして、次のガバナー月信での訂正をお願いしております。

御祝事の報告ですが、稲見幹事が「関東中央整備局の局長表彰」という大変な表彰を受けられました。おめでとうございます。そして先日モンゴルに行った時の、前駐日大使・ジグジッドさんが、



ニックを、現在の病院の前にオープンすることになりました。医院長が耳鼻科の大前先生、摂食嚥下障害の患者さんの治療では有名な先生でございます。皆様にもなるべく受診をして頂けるように、今回は土曜日にもオープンすることに致しました。これからは歯科も土曜日に受診することができますので、是非今後とも宜しくお願い致します。

今回は感染予防をテーマに致しまして、患者さんになるべく安全に歯科治療を受けて頂くということで、最新の設備を投入致しました。完成の折には皆さん見に来て頂けると有り難いと思っております。

私の勤務しております大生病院、最近では蜂蜜を作ったり、温泉を掘ったりと、おおよそ病院とは思えないようなことをしております。そしてもう一つ私の専門の「口腔ケア」ということも、病院としては珍しいことなのです。「口腔ケア」の何が珍しいかといいますと、先日私もスーパーに行きましたところ、オーラルケア用品と書かれて歯磨き用品が売られておりました。実は私の専門の「口腔ケア」と言いますのは、寝たきりの患者さん、病気になってしまいご自身で歯磨きが出来ないという患者さんの口の中をケアする、これは歯科衛生士さん、私共で言う看護師さんのような職業の方なのですが、こうした方が専門知識を持って口の中をケアすることを「口腔ケア」と呼びます。ですからご自身の歯磨きとは若干違うと思って頂いたほうが良いと思います。

私が大生病院に入職したときに、まず患者さんが病棟から連れてこられると、お口の中が非常に汚れている状態でした。私が入職したのが平成4年でしたので、当時「口腔ケア」という言葉もまだなく、食事をしていない、食べていない患者さんのお口の中も汚れた状態でした。実は食べていないの方がお口が汚れてしまいます。特に経過栄養とって、食事がとれなくなり鼻からチューブを入れて胃に直接入れるといった医療行為、鼻腔栄養がありますが、こうした患者さんは食べないので非常に汚れます。また意識障害と言って意識が無い状態、終末期と言う患者さんですが、鼻から息もできないので、気切という切り目を入れてそこから息をしている状態ですと、口からも食べられませんし、ご自身で歯磨きをすることもありません。こうした方の口腔は非常に汚れ、歯がない方でも汚れてしまいます。やはり食事がとれていない、食べ物を食べない、口の機能が落ちていく方、正常に口の機能が働かないと非常に汚れてしまうのです。食べないだけではありません。食べている方でも、脳梗塞などで麻痺がおこってしまい、食べ物が上手く流れなくなる等、病気で体が不自由になってしまうと、上手く食べられなかった食べ物が口の中でずっと放置されてしまうため、お口の中がとてつもなく汚れてしまいます。

前回、口の汚れが肺に入り、誤嚥することによって誤嚥性肺炎という肺炎が起こるということをお話させて頂きましたが、こうしたことを予防する、きれいにするのを「口腔ケア」と言います。

こうしたお話をすると、私は病気ではないから大丈夫と思われる方がいらっしゃるかもしれませんが、私たち歯科医が、患者さんの歯が無くなると歯を入れることを薦めるのは、決してお金を儲けようということではありません。健康で外来にいらしている患者さんがおりますが、この方の上の歯の左右の噛合面が明らかに片方だけ汚れている状態でした。何がこう汚れさせるかといいますと、実はこの方は汚れている面の方の下歯がありませんでした。入れ歯等を入れてると違和感があり、入れられないという方も多いのですが、そういう方は噛んでおりません。歯には食べ物を噛むことによって、口の中をきれいにするという、自浄作用があります。ですから歯が無くなって歯を入れないと、上手く食べ物が噛めない、そのため口の中が汚れていってしまうのです。寝たきりでご飯を食べていない人は自浄作用が全くありませんので、口の中が汚れてしまうのです。

私もこの病院に入った時にこうしたことに気が付きまして、それから理事長先生に無理を言ながら20年間、「口腔ケア」に関して研究をしてまいりました。今日は「口腔ケア」についてもっと、長年の研究によってわかったことを皆さんにお話させて頂こうと思っております。

「口腔ケア」の由来ですが、皆さん看護師さんで有名な方だとナイチンゲールを想像されるでしょうか？しかしナイチンゲールと同じ位、看護の領域で有名な方がいらっしゃいます。ヴァージニア・ヘンダーソンという方で、看護師さんに聞くと大抵の人が知っているという、看護学校で必ず習う人です。

ヴァージニア・ヘンダーソンは1960年に看護の基本となるものという、今の看護師さんの基本になる本を出しています。アメリカの看護師さんで、ナイチンゲールと並び称されるほど有名な看護師さんです。この看護師さんがその本に「口腔ケア」について下記のように書いています。

「歯を磨くこともすごく簡単なことであると多くの人は思っているが、実際には口腔衛生について十分知っている人はほとんどいない。意識を失っている人の口腔を清潔に保つことは、非常に技術を要し、よほど熟練した看護師でないと有効に、しかも安全に実行するのは難しい。実際患者の口腔内の状態は、看護の質を最も良く表すものの一つである。」病棟の患者さんの口の中を見ると、この病院の看護の質というものがわかる、ということをして1960年にヴァージニア・ヘンダーソンは言っていました。この人が看護の神様であると言われるのは、1960年にもうそのことを知っていたということです。ではヴァージニア・ヘンダーソンはなぜ患者さんの口を綺麗にすることが難しいと言っているのでしょうか？これは色々な要因があります。

私も昨年9月、先の大震災で多くの人が亡くなった気仙沼に支援に行っていました。皆さんも被災地に身元確認のため歯医者に行くということを新聞等で読まれたことはありますか？なぜ歯医者が身元確認をするのかご存知ですか？

現在の法律上、身元確認の方法は2つ、1つがDNA鑑定、もう1つが歯科的特徴(歯型) この2つが一致すると全く何も持っていない人でもその人と判断して良いと決まっています。では歯型とはそんなに個人を特定できるものなのでしょうか？

歯形が一致する確率、皆さんのお口の中と同じ口の中を持っている人がいる確率は1/1億人です。歯が抜けたり、かぶせ物を入れていたり、ある人は入れ歯を入れていたりするわけです。その位置が、歯とは上下合わせて約32本ありますが、部分的に違う、この特徴を持つのは1億人に1人という計算だそうです。逆に言えば、同じ口を持っている人はいないということです。そのため身元鑑定ができる、そのくらい口の中というのは個性が高いのです。ですからそれぞれの人に合わせてケアをしていかないと、口の中は綺麗になりません。

ヴァージニア・ヘンダーソンが神様と呼ばれる理由、1960年にそれに気づき、それくらい個性の高いケアができる病院はすごく良い病院だと言っている、こうしたことに気づくことが看護の神様と呼ばれる所以だと思います。それくらい「口腔ケア」は難しいと言われております。しかしその難しい「口腔ケア」、日本は昨年病院数が7,587病院、そのうち6,500病院、86%の病院は歯科医がおりませんでした。このような病院は外から往診に来るか、歯の事は全くやらないかのどちらかです。歯科がある病院は1,184病院、約14%の病院しか、歯科が併設されておりませんでした。これでは入院されている患者さんの口腔トラブルには対応できません。ヴァージニア・ヘンダーソンが口腔ケアを一生懸命している病院は質が高いと言っておりますが、そこまで中々いかないというのが我が国の現状です。これをもう少し増やしていきたいということが、私たちのライフワークでもあります。

「オーラルケア」、誰が一番初めに「口腔ケア」という名前を付けたのかということが、私の研究テーマです。1973年に「terminal patient/oral care」という世界で初めて「オーラルケア」というタイトルで出されたアメリカの本があります。25,000円もする非常に貴重な本ですが、「口腔ケア」で貴重なわけではありません。今の「口腔ケア」の本は、絵が非常に沢山描いてあり、口の中をどのようにきれいにするかということが沢山書いてあります。しかしこの本は字ばかりです。「Terminal patient」というのは終末期の患者さん、死期が近く医療も施せないような亡くなる寸前の患者さんということなのですが、その患者さんへの「口腔ケア」、口の中のケアをどうするか

と言う本で、これが世界で初めて「オーラルケア」というタイトルで出された本です。中に少しだけ写真がありますが、電動歯ブラシが載っています。電動歯ブラシとは元々、手が不自由な人が歯を磨くのに便利のようにできた商品で、1960年にアメリカで開発されたものですが、これが唯一この本の中の写真です。

この本、あることで有名で値段が高いのですが、実は看護の本でも、歯医者の本でもありません。何の本かと言いますと、「originally published in the journal of thanatology」と書かれており、thanatologyの本、thanatologyとは死生学という学問です。死生学とはある種の哲学で、死生観ということは聞いたことがあるかも知れませんが、人はどう生きるかといった問題です。この本は“死生学”という1970年代にアメリカでブームになった学問の本でして、そのシリーズの一つとして出されたものです。

1970年代アメリカでは医療が進み、病院で亡くなるということではなく、自宅で亡くなったりと色々な方法で終末期を迎えるという、ベトナム戦争が終わり死と言うものをしっかりと考える時代が訪れたそうですが、その時に出てきた学問です。今日本でもブームでして、東京大学に臨床死生学講座という所があり、私も東大の臨床死生学講座に行き、死生学とはどのような学問かということをお勉強しました。死生学とは臨床の現場、つまり我々のような亡くなる患者さんを目の前にして、どうそれに対応したら良いかということをお勉強している人々の学問です。こういう話をすると少し難しく感じてしまうかもしれませんが、今死生学がブームだといった理由がございまして、「おくりびと」という映画がありますが、これが非常に死生学の映画なのです。死生学とは宗教によらない死生観、やはり我々は死ぬと天国に行く等、宗教的に死を捉えることが多いのですが、しかしこの映画は全く宗教色がありません。死んで天国に行く等といったことは何もなく、この映画の中では「死というものは門である」という話ができました。次の世界に行くための門であるという考え方、日本では割と仏教の方が多く、こうした学問はいらぬのかもしれませんが、外国だと色々な宗教の人がいて、色々な宗教の方が亡くなる直前に病院に来て、その人達に対応するためには宗教を超えた死生観が必要となり、その死生観が死生学であると言われております。どのような宗教の方にも必ず死は訪れ、宗教を超えて死というものに対応していくためにどうとらえるかという学問、それを映画では分かり易く、なんとなく人間の根本の部分が描かれておりました。これが死生学の映画だと言われると、なるほどと納得するようものでした。

口腔ケアは、この死生学という所から発祥したということ。この本には終末期に於ける患者さんの口腔の問題、末期の患者さんに焦点を合わ

せて死生学財団がこの本を作りましたと書いてあります。この時代には死生学、終末期の患者さんの問題ですが、非常に多くの研究が成されております。シシリー・ソングラスという方が、世界で最初にホスピス、今でいう緩和医療の病院をイギリスで作ったこの時代が 1967 年、ちょうどこの本が出される少し前の事です。この本には、当時のシシリー・ソングラスがどういった患者を終末期として迎えるかということも書いてあります。「オーラルケア」とおった問題よりも、恐らくそちらの方が、価値があるのだと思います。そのため高価な本なのだと思います。

もう一つは、エリザベス・キューブラー・ロスという医師、日本でも有名な「On Death and Dying」、死を迎える人がどのような気持ちの変化があるかということの研究した医師がいます。この方も 1969 年にこのような本を出しております。この年代、死に対しての死生学という分野では非常に研究が盛んでした。その時に同じく「オーラルケア」という本が出されております。

私が大生病院に入り 20 年経ちますが、なぜこの分野を研究しようと思ったかといいますが、大生病院に転院したてのある患者さんがおりました。この患者さんが、虫歯が酷いので診て下さいということでしたので診てみると、やはり虫歯が沢山ありました。終末期だからこのような状態でも仕方ありませんよね、と言いたかったのかもしれませんが。入院して少しの時間でそうなってしまったようですが、私たち歯科医師にとってはとてもがっかりする状態でした。

皆さん 8020 とはご存知ですか？ 80 歳で 20 本の歯を残そうということなのですが、私は大学を平成元年に卒業しましたが、8020 だから一生懸命治療をしようと言われ、学校を退学しました。患者さんには一生懸命磨いて下さいね、虫歯にならないようにしましょうねと言ってきました。この患者さん、虫歯の治療痕が一つもありませんでした。私たちでいう簡単な治療も受けていないのです。治療をしないように、最後の最後まで一生懸命歯を磨いていたのでしょうか。しかし最後に病気になる、口腔ケアが行き届かない病院に入院し結果、虫歯だらけになってしまったのでしょうか。私たちが一生懸命 8020 だと治療をしても、最後の最後にこうした状態になってしまうということ、この患者さんはこれで幸せなのだろうか、私たち歯科医師は元気な人を相手に治療をしてだけでなく、終末期の状態でこのようにならないようにすることも一つの役割だろうと思いました。

死生学の本として出した「オーラルケア」を執筆したのは、オースティン・クッシャーという歯科医師でした。オースティン・クッシャー先生は、恐らくこのような患者さんを診て、これではいけないということでこの本を執筆したのだと思います。ここには、終末期の患者さんに於いて口腔は非常に重要であるので、その最後の日まで最小限

の不快と最大限の尊厳を持ってケアしましょうと書かれております。

人間の尊厳とは死生学的に非常に大切なものです。皆さんも尊厳死ということを知ったことがあるかもしれませんが、尊厳死とは決して安楽死ではありません。尊厳を持って最後を迎えようという言葉です。尊厳ある死というのは、終末期の患者さんの最後の日々をどう支援するかの言葉、我々医療者はやはり治療をし、患者さんを治すということも大切ですが、治療が及ばず最後を迎える患者さんをどのように迎えるかということも大切です。最小限の不快と最大限の尊厳、尊厳は死を形容するのではなく、死に向かって最後の生きている人の在り方を形容しているのです。

「口腔ケア」が死生学から生まれたものだという事は今まで誰も知らなかったことでして、今私は口腔ケアの大切さ、ヴァージニア・ヘンダーソンが看護の神様と言われる理由を話して、日本全国回っています。私たちとしては、人が最後まで人として在り続けるために、口の中まできれいにしておきたいということが非常に大切だと伝えながら、「口腔ケア」を広めております。



- 若松君 阪口先生、本日の卓話楽しみにしていました。よろしくお願い致します。
- 稲見君 大生病院歯科、阪口英夫先生、今日にお話楽しみです。よろしく申し上げます。ありがとうございました。
- 江原君 (医)尚寿会大生病院歯科部長・阪口英夫先生、本日はお忙しい中、ようこそお出で下さいました。「口腔ケア」についての卓話、何卒よろしくお願い致します。
- 寶積君 阪口先生、忙しい中、卓話に来て頂いて、出席率が悪くて済みません。
- 小島君 大生病院歯科部長・阪口英夫先生、ようこそお出で頂きました。卓話楽しみにしておりました。
- 中谷君 大生病院歯科部長・阪口英夫先生、度々の卓話ご苦労様です。米山奨学生、金強重君ようこそ、例会楽しんで下さい。
- 高田君 阪口先生、今日は忙しいところありがとうございます。よろしくお願い致します。
- 吉松君 2011 年度、国土交通省関東整備局長、優良工事等局長章に稲見さんの会社・平和フィールド(株)が H23 秋山川築堤用地調査等業務(その2)他 2 件で表彰されました。おめでとうございます。

夫人誕生祝 中谷君



9月は新世代月間です)

)  
)  
)

各ロータリアンは青少年の模範)

次の例会 点鐘 午後6時半 (於) 狭山東武サロン  
9月18日(火) 家族同伴お月見夜間例会  
(モンゴル植樹報告DVD鑑賞)